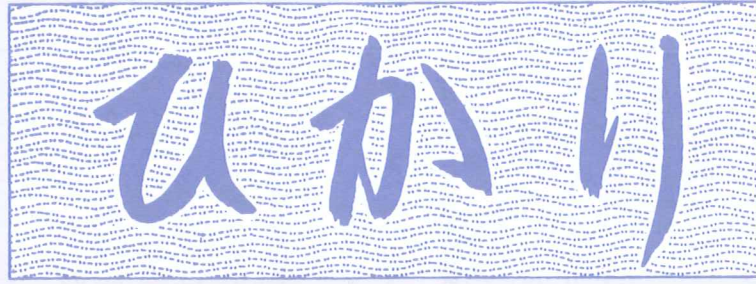


# No. 90

2013年（平成25年）  
7月1日

発行  
浄土真宗本願寺派  
和歌山教区日高組  
責任者  
片桐 浄映



ええな 世界虚空がみな仏  
わしもその中 ナムアマミダブツ

妙好人 浅原才市翁



宗祖降誕会（衣奈地区3カ寺合同・於明王丸）

## 阿彌陀經に聞く

### 利益を挙げる

「舍利弗、もし善男子・善女人ありて、この諸仏の所説の名および經の名を聞かんもの、このもろもろの善男子・善女人、みな一切諸仏のためにともに護念せられて、みな阿耨多羅三藐三菩提を退転せざることを得ん」

「善男子善女人」は「みなさん」というおシヤカ様の呼びかけ程度と今まで思っていたのですが、ここにも真宗の奥義があるのです。

二回でてきますが、最初の「善男子善女人」は、自分がいい人と思っている人ということです。あとの「善男子善女人」は、お念仏をいただいて自分が愚かなものと気づき謙虚に生きることによって、逆説的にその人の生き様が人から立派な人といわれる人ということです。

不退転とは、

1 仏道修行の過程で、すでに得た境地から後戻りしないこと。不退転。

2 退くことなくいつも修行すること。善根を重ねて、退いたり失ったりしないこと。不退転。

また、元総理が使ったのは、信念を持ち、何事にも屈しないことで使ったのでしょう。不退転とは、二度と上位から下位に落ちないことで、お相撲の横綱みたいなもので、大関のように位から落ちることはないのです。

お念仏をいただいたものは、「阿耨多羅三藐三菩提」という無上の悟りを開いて、横綱のようにその位から落ちることなく、命終えたら仏となるのです。

（永原智行）

平成二十五年度日高組  
 「御同朋の社会をめざす運動」  
 実践運動重点プロジェクト

総合テーマ

ヨコ・タテ・ナナメのつながりを。

実践目標

「真宗法座・キッズサンガ・広報」の活動を充実し、継続してゆく。

達成目標

一、真宗法座を毎年開催し、お寺にご縁のなかった方々にも積極的にお声を掛けて、より多くの方々にみ教えを聴聞していただく機縁を持つ。

二、教化団体の協力の下、キッズサンガを開催し、お年寄りから子供まで世代を超えて楽しく過ごして頂く場を確保する。

三、若い世代や遠隔地の方々にも日高組の諸行事等に興味を持っていただき、み教えが世界に広がるよう、組報「ひかり」のさらなる充実と購読の拡大、並びにホームページの管理運営をする。

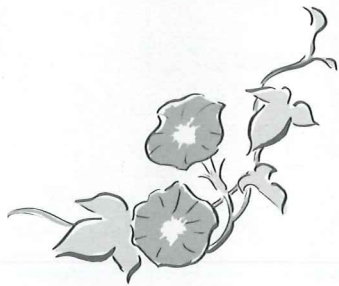
推進計画

- ・真宗法座・キッズサンガのさらなる協力と参加を行い、参加奨励してゆく（各寺院各教化団体）
- ・実践目標を組内全寺院で取り組む
- ・ホームページの运营管理
- ・仏教壮年会組織について、活性化できる方法を検討する。

※「御同朋（おんどうぼう）の社会」とは、お念仏のみ教えを聞きひらき、命の尊

さにめざめる一人ひとりが、それぞれの違いを尊重し、ともにかがやくことのできる社会であります。

日高組の実践運動は、「ヨ



コ・タテ・ナナメのつながりから、より多くの方々にみ教えを弘め、深めていただくことを目標にしています。

法悦クイズ

官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、ご感想・ご意見等を明記の上、下記までお送りください。

〒649-1223  
 日高郡日高町小浦195  
 円行寺内 日高組事務所

※抽選で10名の方に粗品を進呈いたします。

※締め切り日  
平成25年9月20日(必着)

※発表は次号

葬儀や法事で焼香する意味は？

次の1～3の中から一つ選んで番号を書いてください。

1. お香は死者の食べ物であり、それを亡き人に捧げるため
2. 仏さまの救いのはたらきを、香りを通して味わうため
3. 死者の穢れを除き、同時に自らの汚れも取り除くため

89号の正解は、「3. 阿弥陀仏」でした。

正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 由良町 上道千津代 様 | 由良町 中崎工三子 様 |
| 由良町 小林 民子 様 | 由良町 平林ツタ工 様 |
| 由良町 磯寄美千代 様 | 由良町 尾崎ゆり子 様 |
| 由良町 小林 照代 様 | 由良町 久保千代子 様 |
| 由良町 松下伊佐子 様 | 由良町 浜崎 礼子 様 |

# 降誕会に思う

さる四月十四日、衣奈地区三カ寺(西教寺、信行寺、円明寺) 合同の宗祖降誕会を拙寺で勤修させて頂き、改めて降誕会について思いを巡らしました。

「親鸞におきては、ただ念仏して弥陀にたすけられまいらすべしと、よきひとのおおせをかぶりて、信ずるほかにべつの子細なきなり。」(歎異抄)

この歎異抄の有名な一句が示していますように、親鸞聖人の信仰的自覚のよつて立つところは常に「よきひと」法然聖人の「おおせ」でした。親鸞聖人においては法然聖人はよき人と仰がれた善知識(信仰における師)であり、『この世にましまして法を説きたもう』師でした。

智慧光のちからより  
本師源空あらわれて  
浄土真宗をひらきつつ  
選択本願のべたもう

曠劫多生のあいだにも  
出離の強縁しらざりき

本師源空いままさずば  
このたびむなしくすぎなまし  
(高僧和讃)

親鸞聖人にとって法然聖人(源空聖人)はまさに智慧光のちからより現れた『応化の仏』(人間の願いに応えて人間の姿をして世に現れた仏)でした。そしてそれは、五濁(劫濁、見濁、煩惱濁、衆生濁、命濁、の五つの濁りに満ちた悪い世の中のこと)で、仏説阿弥陀経の中に出てきます。に生きる者のために、世に示現して苦悩から解脱する道を説き示された応化の仏―お釈迦様、を現前のよき人法然聖人に仰いだともいえるでしょう。

人生には人それぞれ様々な出会いがあります。しかし「よきひと」と仰ぐところに親鸞聖人にとって法然聖人との出逢いは絶対的であったことがうかがえます。親鸞聖人に生きていることの根源的な意味を見つめ、新しい人生の出発を説き示めされたのが法然聖人でした。私はこの親鸞聖人の法然聖人に対する絶対的な崇敬の念と私の親鸞聖人に対する気持ちとをリンクさせ降誕会を勤めさせて頂きました。

(湯川千秋)

# 門徒心得

## 「旅に出る」

葬儀に「葬儀屋さん」が関わるようになりひさしくなります。最近葬儀屋さんも勉強をしてくださっているのか、住職の意向を聞いてくださいます。仏教の教義にしたがって、葬儀の意味も変わってまいりますので、何でもいとはいけません。阿弥陀様以外の宗教は、人間の死を旅に出るとお考えになります(死出の旅路)。これにしたがって葬儀が営まれます。お棺の中のご遺体の姿は旅装束で整えます。三角布・手甲・脚絆・頭陀袋(六文銭を入れる)・白足袋・杖・守り刀。楽しい旅なら良いですが、そうでもなさそうです。暗闇の一人旅。暗闇ですから明かりが必要、「四十九日までローソク絶やすな」です。暗闇には魔物が潜み追いかけるそうです。戦うための

「守り刀」現在刀がないので安全カミソリが添えられます。役に立つでしょうか。人のおいを消すためにお香が必要、「四十九日までお香をたやすな」です。想像してください。年老いた老人が、幼子が安全カミソリ片手に魔物と戦う姿を：つらい思いをします。そして三途の川を越えなければなりません。その渡し賃が「六文銭」。今はないので紙にプリントです。騙せるようにも思いません。消費税はつかないのでしょうか。そして閻魔さまの前へ：私は救われるでしょうか？

お救いの決定が遠ければ遠いほど安心できません。今、阿弥陀様は私の身に『なんまんだぶつ』で満ち満ちてくださいます。私には死出の旅はございません。阿弥陀様とご一緒、この命終わるときにお浄土に参らせていただきます。(岩崎法明)

## 読者の声

※今日暖かな朝、お彼岸のお寺のお掃除に行つて参りました。石段の登り降りまだ苦にならず、健康で毎日を過ごせる事に感謝感謝の日です。先にお浄土にま

- ※日高組真宗法座を教専寺でお勤めいただきお参りできました事うれしく思いました。ひかりを読ませて頂き有り難く思います。
- ※今回のひかりはとても心にひびく内容で、何事にも忘れかけている気持ちや目標に向かって行ければと思います。いつもありがたいう言葉がたくさんついで心にひびきます。ありがとうございます。
- ※いつもひかりを楽しく読ませて頂いています。知りたいう事、知った事がとても多く、次のひかりが楽しみです。
- ※毎回ひかりを配ってきてくれ、真つ先にこのクイズを見るのを楽しみにしています。
- ※「門徒心得」等いつも楽しく拝読させていただいておられます。少しづつ知識が増えてうれしく思います。
- ※いつもクイズの内容を見て考えることが増えて楽しみにしています。
- ※今年も彼岸会(春季)暖かく迎えられそうです。
- ※毎号楽しみにしております。
- ※いつも有り難うございます。

# 日高組寺院めぐり

蓮専寺(由良町里)

第十七世住職 岩崎 法明

文明十七年(一四八五)

藤大夫と申す先人が八月中旬のころ京都・山科本願寺にて本願寺第八代蓮如上人と出会い・ご教化をいただき、またこの時にお名号ご真筆くださり由良の町に帰国の後、道場を建立。蓮専寺が開基されます。その由来により四月には蓮如上人をしのぶ『中祖忌法要』が勤修されます。この日、蓮如上人の隣余間には上人ご真筆、六字のお名号がかけられご満座には住職により「蓮専寺の由来」が読み上げられます。このお名号は本堂消失の火事の中、境内



蓮専寺

の桜の木に残った言い伝えがあり本願寺御記録に「飛び火の名号」と伝えられています。

また蓮専寺には明暦三年(一六五七)当時の住職(七代住職・教祐)より書き始められた「蓮専寺記録」が現存しており当時をうかがう貴重な記録があります。現在の寺院行事としては、四月「中祖忌法要」

八月「夏法座」夕涼み法座 春・秋 彼岸会・永代経 冬 「御正忌報恩講」

除夜の鐘つき・除夜会 また中祖忌・報恩講の夜座は日曜学校の子供たちと共に法要がとまります。

**日高組仏教壮年会  
平成二十四年度研修会  
「お念珠づくり」**

三月七日(木)夜七時より由良地区蓮専寺において「お念珠づくり」の研修を開催しました。仏教徒においてお念珠は大切な仏具。「生持てる自分のお念珠」をテーマに珠・ヒモ選びからヒモの編みこみまですべて手作業。またスタッフに

広川町在住、蓮専寺門徒・片岡勝巳さん(五十四才)をむかえご指導をいただきました。片岡さんは、大人になり家を出る我が子たちに父手作りのお念珠を持つてほしいとの思いから、京都の念珠店協力のもと、珠運びからヒモの編みこみまで研究され、立派なお念珠を作りあげられた方です。参加者はヒモの編みこみに苦戦するも、立派なお念珠を完成させることができました。



## 日高組通信

### ☆行事報告

・日高組組会  
平成二十四年度日高組定期組会(総会)が三月二十日(土)午後二時から組事務所(円行

寺)にて行われました。定期組会に先立ち、平成二十四年度に亡くなられた僧侶・寺族・責任役員・門徒総代の方々の物故者追悼法要が営まれ、教専寺住職永原智行師による法話を聴聞しました。

定期組会では住職・門徒組会議員さんの出席のもと、二十四年度事業並びに会計報告、二十五年度事業計画並びに予算案の審議が行われ、承認可決されました。また、宗門の基幹運動が二十四年度より「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)に変更されたことを受け「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)と和歌山教区日高組委員会設置規則が上程、審議され、承認されました。

・日高組総代会総会・研修会  
四月十三日(土)日高町志賀・即生寺に於いて平成二十四年度事業経過報告・会計報告、二十五年度事業計画・予算について審議しました。ひきつづき、「キッズサンガの勧め」と題して研修会を開催しました。講師の即生寺住職藤本使朗師は現在、教区少年連盟委員長・教区アドバ

イザーなどを務められており、「キッズサンガの勧め」の講題で話されました。日高組のキッズサンガが今年で七年目を迎えるにあたり、組のテーマでもある「ヨコ・タテ・ナメのつながり」のタテの面であるキッズサンガの活動について紹介され、お年寄り

から子供まで集える場を確保し、「念仏の声を世界に子や孫に」の言葉の通り、み教えや、お念仏を喜ぶ後姿を確実に伝えてゆく責務を総代さんがたに持つて頂きたいと説明されました。

・日高組仏教婦人会物故者追悼法要並びに年次総会の開催  
日高組仏教婦人会連盟の物故者追悼法要が四月二十九日(月・祝)に日高町小浦円行寺で修行され平成二十四年度中の物故会員のご遺族をはじめ、組内法中出勤により、「仏説阿弥陀經」がお勤めされ、由良町阿戸教専寺住職永原智行師による法話が行われました。永原師は「浄土宗と浄土真宗の違い」について法話され、法然聖人と親鸞聖人の立場的な違いを第十八願「唯除五逆誹謗正法」の文を挙げられ、罪悪生死の凡夫をお目当てとされた、阿弥陀さまのご本願についてわかりやすく解説されました。

この後、年次総会が開催され、昨年の事業経過報告並びに決算報告、今年度の事業計画など審議されました。

☆行事予定  
・日高組子供集い  
「キッズサンガ」

日高組の重点プロジェクトの一つであります。キッズサンガを昨年に引き続き、本年も開催いたします。夏休み期間中の八月中旬を予定しています。決定次第各寺院を通じてご案内いたします。